

国際医療福祉大学循環器内科 常勤医師研究業績(2013年4月～2014年3月)

I. 原著

< 欧文原著 >

Miura M, Sakata Y, Miyata S, Nochioka K, Takada T, Tadaki S, Takahashi J, Shiba N, Shimokawa H; CHART-2 Investigators. Usefulness of combined risk stratification with heart rate and systolic blood pressure in the management of chronic heart failure. A report from the CHART-2 study. *Circ J.* 2013;77(12):2954-62.

Nochioka K, Sakata Y, Takahashi J, Miyata S, Miura M, Takada T, Fukumoto Y, Shiba N, Shimokawa H; CHART-2 Investigators. Prognostic impact of nutritional status in asymptomatic patients with cardiac diseases: a report from the CHART-2 Study. *Circ J.* 2013;77(9):2318-26.

Sakata Y, Nochioka K, Miura M, Takada T, Tadaki S, Miyata S, Shiba N, Shimokawa H. Supplemental benefit of an angiotensin receptor blocker in hypertensive patients with stable heart failure using olmesartan (SUPPORT) trial--rationale and design. *J Cardiol.* 2013 Jul;62(1):31-6.

Tanaka S, Fukumoto Y, Nochioka K, Minami T, Kudo S, Shiba N, Takai Y, Williams CL, Liao JK, Shimokawa H. Statins exert the pleiotropic effects through small GTP-binding protein dissociation stimulator upregulation with a resultant Rac1 degradation. *Arterioscler Thromb Vasc Biol.* 2013 Jul;33(7):1591-600. doi: 10.1161/ATVBAHA.112.300922. Epub 2013

Miura M, Sakata Y, Nochioka K, Takahashi J, Takada T, Miyata S, Hiramoto T, Inoue KI, Tamaki K, Shiba N, Shimokawa H. Prognostic Impact of Blood Urea Nitrogen Changes During Hospitalization in Patients With Acute Heart Failure Syndrome. *Circ J.* 2013;77(5):1221-8.

Nakayama M, Takeda M, Asaumi Y, Shimokawa H. Identification and visualization of stimulus-specific transcriptional activity in cardiac hypertrophy in mice. *Int J Cardiovasc Imaging.* 2014;30(1):211-9.

Norihiro Kamikomaki, Nobuyuki Shiba. The Activities of Doctors Getting the Diploma in Mountain Medicine in Japan. *Jap J. Mount Med.* 2013;33:28-32.

< 欧文症例報告 >

Takeda M, Shiba N, Takahashi J, Shimokawa H. A case report of very late stent

thrombosis with peri-stent coronary artery aneurysm and stent-related coronary vasospasm. Cardiovasc Interv Ther. 28: 272-8;2013

II. 総説

<英文総説>

<和文総説>

III. 著書

<和文著書>

柴信行、下川宏明：慢性心不全の疫学データ：心不全 Q&A、7-13 頁、総合医学社 2013

柴信行、下川宏明：心不全の実態（疫学）を知る：心不全をマスターする、12-24 頁、文光堂 2013

IV. 学会

<国際学会>

<国内学会>

第 33 回登山医学会学術集会（6 月 15～16 日、京都）

<一般演題口演>

上小牧憲寛、柴 信行、兼光伯法、武田守彦：認定山岳医資格取得後の認定医の活動についての報告

第 19 回日本心臓リハビリテーション学会学術大会（7 月 13～14 日、2013 年、仙台）

<教育セッション 6>

柴 信行（座長）：PCI の進歩

<一般演題口演>

柴 信行（座長）：予後疫学

第 54 回日本人間ドック学会学術大会 (8 月 29～30 日、2013 年、浜松)

<一般演題ポスター>

田川実紀、柴 信行、武田守彦、兼光伯法、上小牧憲寛、北村義浩、武田英孝、天野隆弘：高血圧発症ハイリスク群の臨床背景因子の検討—心電図所見の重要性—

柘植俊介、柴 信行、武田守彦、兼光伯法、上小牧憲寛、北村義浩、武田英孝、天野隆弘：喫煙は多くの心血管疾患リスクや心電図異常と関連する

第 3 回国際医療福祉大学学会学術大会 (8 月 31 日～9 月 1 日、2013 年、大田原)

<一般演題ポスター>

柴 信行、武田守彦、兼光伯法、上小牧憲寛、蘇原泰則：心血管疾患発症や血圧上昇に関わるリスク因子の解明

武田守彦、柴 信行、兼光伯法、上小牧憲寛、蘇原泰則：冠動脈疾患患者において、血清エリスロポエチン濃度は冠動脈病変の重症度と相関する

第 61 回日本心臓病学会学術集会 (9 月 20～22 日、2013 年、熊本)

<奨励賞 初期研修医 (口演) >

菅野道貴、柴 信行、武田守彦、兼光伯法、上小牧憲寛、白河千秋、小暮義雄：尿蛋白陽性は心電図異常と強い関連がある—大規模住民健診データからの報告—

<シンポジウム 安定冠動脈疾患に対する治療戦略>

高橋潤、坂田康彦、宮田聡、後岡広太郎、三浦正暢、高田剛史、柴信行、下川宏明：虚血性慢性心不全における冠動脈血行再建術の予後に及ぼす影響

<一般演題口演>

高野真澄、武田守彦、柴信行：虚血性心疾患患者における局所収縮遅延の同定：ATP 負荷 3D 心エコー図法による Activation Imaging を用いた検討

第 53 回栃木県総合医学会 (11 月 17 日、2013 年、宇都宮)

<一般演題口演>

菅野道貴、柴 信行、武田守彦、兼光伯法、上小牧憲寛、白河千秋、小暮義雄：
性差が心電図異常に及ぼす影響の検討～栃木県大規模住民健診データからの報告～

第7回日本性差医学・医療学会学術集会（1月31日～2月1日、2014年、東京）

<一般演題ポスター>

柴 信行（座長）：ポスターセッション（心臓）

第231回日本循環器学会関東甲信越地方会（2月1日、2014年、東京）

<一般演題口演>

田川実紀、武田守彦、上小牧憲寛、兼光伯法、柴 信行、吉永隆、國友隆二：
トルバプタンの追加投与により、待機的な心臓手術が可能となった重症心不全の2例

日本総合健診医学会第42回大会（1月31日～2月1日、2014年、東京）

<一般演題口演>

柴 信行、田川実紀、武田守彦、兼光伯法、上小牧憲寛、北村義浩、武田英孝、
天野隆弘：脈拍数上昇と心電図異常は高血圧発症と有意に関連する

柴 信行（座長）：一般講演 8-心臓

第78回日本循環器学会学術集会（3月21～23日、2014年、東京）

<一般演題口演>

Tagawa M, Shiba N, Takeda M, Kanemitsu H, Kamikomaki N, Shirakawa C, Kogure Y.
Obesity Is A Significant Risk for the Future Development of Hypertension in Japanese
Population

Sugeno M, Shiba N, Takeda M, Kanemitsu H, Kamikomaki N, Takeda H, Amano T.
Cigarette Smoking is Associated with Electrocardiogram Abnormalities in Japanese
Population

<一般演題ポスター>

Shiba N (Chairperson) Heart Failure (Diagnosis) 1

V. 研究会・講演会

サムスカ研究会 (6月11日、2013年、大田原)

武田守彦：一般演題「当院におけるトルバプタンの使用経験」

第一回県北循環器診療ネットワーク (6月24日、2013年、大田原)

柴 信行 (座長)：一般演題

第三回栃木県心血管リハビリテーション研究会 (10月18日、2013年、宇都宮)

柴 信行 (座長)：一般演題

安部泰広、村上厚文、柴 信行ほか：一般演題「当院における閉塞性動脈硬化症への取り組み」

第二回栃木県北予防セミナー (11月5日、2013年、大田原)

柴 信行：健診データから見た高血圧発症リスク

柴 信行 (座長)：特別講演

11月度 大田原地区医師会学術講演会 (11月12日、2013年、大田原)

柴 信行：心不全に関して最近気になっていること

第3回栃木県北地区 Network Meeting (11月13日、2013年、大田原)

柴 信行 (座長)：基調講演

第二回県北循環器グランドカンファランス (3月3日、2014年、大田原)

柴 信行 (座長)：一般演題

武田守彦：一般演題「当院循環器科における血管内インターベンション治療の現況」

VI. 受賞

第 61 回日本心臓病学会学術集会初期研修医奨励賞（9 月 20～22 日、2013 年、熊本）

菅野道貴、柴 信行、武田守彦、兼光伯法、上小牧憲寛、白河千秋、小暮義雄：尿蛋白陽性は心電図異常と強い関連がある—大規模住民健診データからの報告—

第 53 回栃木県総合医学会賞（11 月 17 日、2013 年、宇都宮）

菅野道貴、柴 信行、武田守彦、兼光伯法、上小牧憲寛、白河千秋、小暮義雄：性差が心電図異常に及ぼす影響の検討～栃木県大規模住民健診データからの報告～

VII. 社会啓発・広報活動

循環器センター設立一周年記念特別講演会（2 月 23 日、2014 年、那須塩原）

柴 信行：シンポジウム「内科と外科の連携」

武田守彦：一般演題「心臓を地元で治すということ」

下野新聞コラム 平成 26 年 1 月 23 日

柴 信行：健康 110 番 「血圧高めと言われた」